

第5学年2組 外国語科学習指導案

指導者 HRT 田中 久絵

ALT Sean Patton

場 所 第2多目的教室

授業のテーマ

その場や状況に合わせて語句や表現を選択したり、相手の話に合わせて反応したりしながらコミュニケーションを図ることができる児童の育成

1 単元名 I want to go to Italy . 『Here We Go ⑤』 Unit6

2 単元の目標

世界の国々に興味をもち、自分が行きたい国やその理由を、相手に配慮しながら伝え合うことができる。また、行きたい国に関することについて、例文を参考に、音声で充分慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。

3 目指す児童を育てるために

(1) 児童の実態

- ・学級に共感的、受容的な雰囲気があり、失敗や間違いを恐れず既習事項を使って話してみようとする態度が見られる。
- ・明るく活発な児童が多く意欲的に学習に取り組むが、母語においてもコミュニケーションが苦手な児童がおり、グループ活動に配慮が必要である。
- ・全体として、聞き取ったことを繰り返したり、英語の音韻やリズムを真似て話したりすることが苦手である。

(2) 単元で育てたい資質・能力

- ・その場や状況に合わせて語句や表現を選択しながら気持ちや考えを伝え合うこと。
- ・相手の話に反応しながら即興的にコミュニケーションを図ろうとする態度。

(3) 教材について

- ・児童は、これまで世界の様々な国の挨拶の言葉にふれたり、好きなものやできることを伝え合ったりする経験をしている。また、母語同様に、外国語においても、相手により伝わりやすくするためには、表情やジェスチャーなどの非言語も重要な要素であることに気付いている。
- ・5年生では、既習に新出表現を加えて自分の行きたい国を紹介する活動を設定し、理由を加えて自分の考えを示したり、相手の話に反応しながら3往復程度のやり取りをしたりすることができるようにすることを目指す。その際、行きたい国について相手と自分との間には知識の差があることに気付かせ、それを埋めるために工夫について考えさせる。

(4) 手立て

- ・言葉チャートの活用
- ・スピーチを振り返るチェックシート

(5) 単元で目指す児童の姿

- ・理由を付け加えたり、補助となる語彙や表現を追加したりするなど、相手に分かりやすく伝えるために工夫をする児童。
- ・相手の話を確認し、質問したり質問に答えたりしながらコミュニケーションを図ろうとする児童。

主に働かせる見方・考え方
適切な言語材料を活用し、
思考・判断して自分の思いや考えを表
現すること。

関連する領域別目標

〔聞くこと〕

ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする

〔話すこと(やり取り)〕

イ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

〔書くこと〕

ウ 自分や相手のこと及び身の回りのものに関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場でのことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で充分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

Let's Try! Unit5 What do you like?(3年生)

○何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。

【言語材料】

- ・ What (food) do you like?
- I like (pizza).
- ・ 果物・野菜, 飲食物, スポーツ, 動物,

Let's Try! Unit7 What do you want?(4年生)

○相手に配慮しながら自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。

【言語材料】

- ・ Hello. I'm [My name is] (Hinata).
- I like strawberries. I don't like lemons.
- ・ 果物・野菜, 飲食物, スポーツ, 動物, 色,



本単元で目指すやり取り例

- A: Where do you want to go? B: I want to go to Italy.
 A: You want to go to Italy. Why? B: I want to eat pizza. I want to see soccer games.
 A: Nice. Do you like pizza? B: Yes, I like pizza. Where do you want to go?

Unit6 I want to go to Italy.

時	目標◆ 活動○	言語材料	◎評価規準 *支援
1	◆世界の国々の言い方を知る。 ○Small Talk: さまざまな国 ○世界の有名な場所を国, 国旗を結び付ける。 ○語彙の導入: 国名, 世界遺産等	I want to go to Italy. 国名	◎記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。 *本単元で扱う語句や表現を十分聞かせ慣れ親しませる。
2	◆世界の国でできることを伝える言い方を知る。 ○Small Talk: 世界の国でできること ○学習表現の導入・理解: デジタル教材 ○言語材料の練習: チャンツ ○学習表現の使用: 国旗カルタ ○i と j の文字	第1時までの表現 In (国名), you can [visit/see/eat/drink/buy] ~.	◎In (国名), you can [visit/see/eat/drink/buy] ~. の表現について理解している。 [知識・聞く] *表現をより理解させるために、事前に国名を表す単語を復習する。
3	◆世界の国でできることを伝えることができる。 ○言語材料の練習: チャンツ ○学習表現の復習: 国旗かるた ○自己表現: 国当てクイズ ○紹介した国でできることを書く ○i と j の文字	第2時までの表現	◎In (国名), you can [visit/see/eat/drink/buy] ~. の表現を用いて伝え合う技能を身に付けている。 [技能・話すこと・やり取り]
4	◆行きたい国とその理由を尋ねたり答えたりする言い方を知る。 ○Small Talk: 行きたい国とその理由 ○学習表現の導入・理解: デジタル教材 ○言語材料の練習: チャンツ ○学習表現の使用: 行きたい国とその理由を尋ね合う。 ○k と l の文字	Where do you want to go*? I want to go to Italy. Why? I want to see soccer games.	◎In(国名)you can [visit/see/eat/drink/buy] ~. の表現について理解している。 [知識・聞く] *本単元で扱う語句や表現を十分聞かせ慣れ親しませる。

5 本時	<ul style="list-style-type: none"> ◆行きたい国とその理由を尋ね合う。 ○言語材料の練習：チャンツ ○学習表現の復習：行きたい国とその理由を尋ね合う。 ○自己表現：行きたい国を尋ね合う。 ○kとlの文字 ○中間の振り返りを行う。 	第4時までの表現	◎7時のスピーチテストに向けて中間評価を行う。
6	<ul style="list-style-type: none"> ◆世界の国々について知る。行きたい国の魅力を考える。 ○言語材料を復習する。 ○自分の行きたい国を書く。 ○スピーチテストに向けて練習を行う。 	第5時までの表現	◎よりよいコミュニケーションのために改善点を見出しながら活動しようとしている。 〔主体的に学習に取り組む態度〕
7	<ul style="list-style-type: none"> ◆ALTと行きたい国とその理由を尋ね合う。 *スピーチテスト ◆友達が行きたい国について紹介するスピーチを聞き、世界の国々への理解を深める。 	第6時までの表現	◎理由を示して自分の考えを話したり、相手の話の内容を確認し、質問や感想を加えたりしながら、行きたい国を話題にして会話を続けようとしている。 〔思考力、判断力、表現力〕

・本単元では、書くことについては記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。

5 本時の学習

(1) 目標

理由を示して自分の考えを話したり、相手の話の内容を確認し、質問や感想を加えたりしながら、行きたい国を話題にして会話を続けようとする。

(思考力・判断力・表現力)

(2) 展開

学習活動 ◇予想される児童の反応	・教師の関わり ○使用教材・教具 ◎具体的評価規準(方法) 教師の手立て
1 挨拶をする。 2 行きたい国とその理由を尋ねたり答えたりする表現を復習する。 ♪You can visit Rome. ♪Where do you want to go? 3 学習課題を確認する。 行きたい国とその理由をたずね合おう。	○デジタル教材：チャンツ
4 ALTとHRTのデモンストレーションを見る。 Hello. ALT: Where do you want to go? HRT: I want to go to Canada. ALT: You want to Canada. Why? HRT: I want to see Niagara Falls. I want to buy delicious maple syrups. I want to eat fresh seafood. ALT: You want to eat fresh seafood? Nice. Do you like lobsters? HRT: Yes. I love lobsters. Where do you want to go?	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を除いて3往復程度のやり取りを目指すという目標を示す。 ・デモンストレーションは2回示す。1回目は会話の流れを確認し、2回目はリアクションに着目して聞かせる。 ・相手の話の確認に加え、感想や質問も付け加えればよいことを確認する。

	A:質問する人	B:答える人
あいさつ	Hello.	Hello.
会話開始	Let's talk about the trip.	OK.
質問	Where do you want to go?	I want to go to(_____).
リアクション①	You want to go to ~.	(Yes.)
理由を聞く	Why?	①I want to visit ~.:行きたい ②I want to see ~.:見たい ③I want to eat ~.:食べたい ④I want to buy ~.:買いたい
リアクション②	You want to ~.	



A:感想をつけ加える	B:質問をする	C:様子をたずねる
Nice. Great! Very good. Cool! Interesting. I see. I got it. Me, too. Wow! Really?	好き?:Do you like ~? できる?:Can you ~? 何が好き?:What ~ do you like? 数:How many? 色:What color? それは何?:What's ~?	大きさ:Big/Small? 味:Delicious/Yummy? Sweet/Salty/Hot? 様子:Beautiful? Nice?

Unit6 Where do you want to go?

Class 5- Name

ゴール：自分の行きたい国とその理由をたずね合うことができる。◎○△

	自己評価	1回目	2回目
質問 A	Where do you want to go?を使って行きたい国をたずねたり, Why?を使ってその国に行きたい理由をたずねたりすることができた。		
	You want to go to～. を使って相手の行きたい国を確かめることができた。		
	You want to～. を使って、相手がその国に行きたい理由を確かめることができた。		
	You want to～. の後に、感想をつけ加えてリアクションすることができた。		
	You want to～. の後に、感想をつけ加えたり、質問をしたりしながら会話を続けることができた。		
答え B	I want to go to ～. を使って行きたい国を伝えることができた。		
	I want to visit/see/eat/buy などを使って理由を伝えることができた。		
コミュ ケ	相手が聞き取りやすい声の大きさ、速さで話した。		
	相手に視線を向けて話した。		
	相手の反応を確かめながら会話をした。		

ふりかえり①（中間）

ふりかえり②（スピーチテストに向けて）